

JBL
HARMAN

JBL FLIP5

取扱説明書





安全上のご注意

- 使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

⚠ 警告 この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。


⚠ 注意 この表示は、取り扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

- 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。


	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示す記号です。
	AC 電源アダプタをコンセントから抜いていたことを示す記号です。
	


⚠ 警告

! AC 電源アダプタは、見える位置で、手が届く範囲のコンセントに接続する。万一の場合、AC 電源アダプタを容易に引き抜くためです。


 付属品以外の電源コードは使用しない。火災の原因になることがあります。


 船舶などの直流（DC）電源には接続しない。火災の原因になります。


 電源コードを束ねた状態で本機を使用しない。火災・感電の原因になります。


 電源コードを本機を傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない。

! 電源コードが破損して火災・感電の原因になります。電源コードが破損した場合（芯線の露出や断線など）には、販売店または弊社サービスセンターに交換（有償）を依頼する。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。

 タコ足配線しない。発熱により火災・感電の原因になります。


 テーブルタップ（延長コード）を使用しない。発熱により火災・感電の原因になります。


 雷が鳴りはじめたら、AC 電源アダプタには触れない。感電の原因になります。


 電源コードの上に重いものをのせたり、電源コードを本機の下敷きしない。電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

! 煙が出る場合、異常なおいや音が出る場合は、すぐに AC 電源アダプタをコンセントから抜く。煙が出なくなるのを確認して販売店または弊社サービスセンターに修理を依頼してください。


⚠ 注意


 濡れた手でコンセントを抜き差ししない。感電の原因になります。

 長期間本機を使用しないときは、AC 電源アダプタをコンセントから抜く。火災・感電の原因になります。


 AC 電源アダプタを抜くときは、電源コードを引っばらない。電源コードが破損して火災・感電の原因になることがあります。

! AC 電源アダプタは、コンセントの根元まで確実に差し込む。AC 電源アダプタを正しく差し込まずに本機を使用すると、火災や感電の原因になります。

 ほこりや湿気の多い場所に設置しない。ほこりの堆積によりショートして、火災や感電の原因となります。

 不安定な場所や振動する場所に設置しない。本機が落下や転倒して、けがの原因となります。

! 移動するときには電源スイッチを切り、すべての接続を外す。接続機器が落下や転倒して、けがの原因になります。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

 薬物厳禁 ペンジン・シンナー・合成洗剤等で外装をふかない。また、接点復活剤を使用しない。外装が傷んだり、部品が溶解することがあります。

内蔵電池についてのご注意

! 内蔵電池の液が漏れたときは直ちに火気より離す。漏液した電解液に引火し、破裂、発火する原因になります。また内蔵電池の液が目に入ったり体や衣服につくと、失明やけが、皮膚の炎症の原因になります。

● 液が漏れたとき
→ 漏れた液に触れないように注意しながら、直ちに火気より離してください。乾いた布などで電池ケースの周りをよくふいてください。

● 液が目に入ったとき
→ 目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分洗い、ただちに医師の診察を受けてください。

● 液が体や衣服についたとき
→ すぐに水道水などのきれいな水で十分洗い流してください。

! 内蔵電池について以下のことに注意する。本製品はリチウムイオン電池を使用しています。リチウムイオン電池にはリチウムが含まれており、誤った使用、取り扱い、廃棄により爆発する恐れがあります。

● 火の中に入れたり、加熱したりしないでください。また、直射日光のあたる場所、高温多湿の場所、車中等に放置しないでください。

● 使用中、保管時等に発熱したり、異臭を発したり、変色、変形、その他今までと異なる場合は使うのを止めてください。

● 電子レンジや高压容器に入れないでください。

● 水、海水、ジュースなどで濡らさないでください。

● 強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。

● 所定の時間を超過しても充電が終わらない場合は、充電を止めてください。

● 本書で指定している以外の方法で充電しないでください。

Bluetooth® に関するご注意

本機は、2.4GHz の周波数帯の電波を利用しています。この周波数の電波は、一般家庭でもいろいろな機器（電子レンジやコードレス電話など）で使用されています。以下のような場所で本機を使用する場合、送信 / 受信ができなくなる場合があります。

- 2.4GHz を利用する無線 LAN、また電子レンジなどの機器の磁場、静電気、電波障害が発生するところ。（環境により電波が届かない場合があります。）
- ラジオから離してお使いください。（ノイズが出る場合があります。）
- テレビにノイズが出た場合、本機（および本機対応製品）がテレビ、ビデオ、BS チューナー、CS チューナーなどのアンテナ入力端子に影響を及ぼしている可能性があります。本機（および本機対応製品）をアンテナ入力端子から遠ざけて設置してください。

⚠ 注意

- 本機の使用によって発生した損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- 本機は、全ての Bluetooth 機器との接続動作を保証するものではありません。
- 弊社ではお客様の接続機器に関する通信エラーや不具合について、一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

安全にお使いいただくために

- 高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは使用しない。電子機器に誤動作するなどの影響を与え、事故の原因となる恐れがあります。
- 航空機内や病院など、使用を禁止された場所では使用しないでください。電子機器や医療用電気機器に影響を与え、事故の原因となる恐れがあります。医療機関などの指示に従ってください。

ご注意くださいたい電子機器の例

補聴器、ペースメーカー、その他医療用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他自動制御機器など。

ペースメーカー、その他医療用電気機器をご使用される方は、該当の各医療用電気機器メーカーまたは販売業者にて電波による影響についてご確認ください。

電波法に基づく認証について

本機は電波法に基づく小電力データ通信の無線設備として認証を受けています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。ただし、以下の行為を行うと法律により罰せられることがあります。

- 本機を分解 / 改造すること。
- 本機に掲示している証明表示を消したりはがすこと。

周波数について

この無線機器は 2.4GHz 帯を使用します。変調方式として FHSS（周波数拡散方式）を採用し、想定される干渉距離は約 10m です。

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- 1 この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認して下さい。
- 2 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止した上、弊社サービスセンターにご連絡頂き、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
- 3 その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、弊社サービスセンターへお問い合わせください。

本機の防水性能について



本製品は、防水規格 IPX7 相当の仕様となっています。一時的（30 分）に一定水深（1m）の条件に水没しても内部に浸水することがない「防浸形」です。

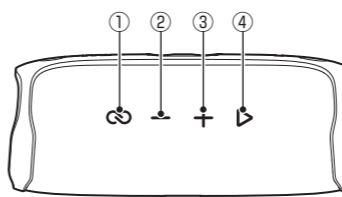
付属品




お使いになる前に、以下の付属品がすべてそろっていることをご確認ください。

- ※ 完全防水ではありませんので水中では使用しないでください。
- ※ 本機に付属の USB ケーブルは防水仕様ではありません。水がかかる恐れのある場所で、USB ケーブルを接続して使用しないでください。
- ※ 万一、本機に水が入った場合は使用を中止し、お買い上げの販売店にご相談ください。お客様の誤った取り扱いが原因の浸水による故障の場合は、保証対象外となりますのであらかじめご了承ください。
- ※ 万一、水が入った場合は使用を中止し、お買い上げの販売店にご相談ください。お客様の誤った取り扱いが原因の浸水による故障の場合は、保証対象外となりますのであらかじめご了承ください。

- USB ケーブル（USB Type C ↔ USB）
- QUICK START GUIDE（多言語取扱説明書）
- WARRANTY CARD（保証書）
- 安全に関する重要な指示

各部の名称とはたらき



- ① JBL パーティブーストボタン（
- ② 音量ボタン（－）
- ③ 音量ボタン（＋）
- ④ 再生・一時停止・曲送りボタン（
- ⑤ インジケーター

JBLパーティブーストボタンを押すと電子音となり、点灯します。もう一度 JBL パーティブーストボタンを押すと電子音がり消灯します。

⑥ **電源ボタン**（）電源を入れる / 切るたびに起動音になります。

⑦ **Bluetooth ボタン**（）

⑧ **バッテリーインジケーター** 各ボタンを押したときにバッテリー残量を表示し、10 秒ほどで消灯します。充電中は点滅します。

⑨ **USB Type-C 端子** 充電用の端子です。

オートパワーオフ機能について

本機の電源がオンのとき、30 分以上音声入力がなく、操作も行われない状態が続くと、自動的に電源がオフになります。引き続きご使用になる場合は、本機の電源を入れ直してください。

起動音について

JBL Connect アプリ（無料）を使うことで、電源オン / オフの際の起動音をならさない設定が可能です。

2.4 FH 1

充電する

重要

本機を長期間使用しない場合は、少なくとも3ヶ月に1回はバッテリーを再充電してください。バッテリー駆動時間は使用条件や環境条件によって異なります。

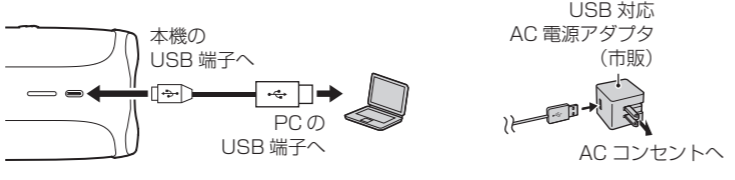
付属のUSBケーブルを電源コードとして使用し、充電します。充電時間は約2.5時間*です。

※ 5V/3A 供給時、内蔵電池が空の状態から満充電になるまでの時間です。

PCから充電する場合は、付属のUSBケーブルを本機のUSB端子と、PCのUSB端子に接続します。

※ 端子に水分が付着している場合は、よく乾かしてからご使用ください。電源コンセントから充電する場合は、市販のUSB対応AC電源アダプタが必要です。

付属のUSBケーブルを本機のUSB端子と、USB対応AC電源アダプタのUSB端子に接続し、USB対応AC電源アダプタを電源コンセントにつなぎます。



充電中は本機のバッテリーインジケーターが点滅し、**だんだん**と白色ゲージが伸び満充電になると消灯します。充電が完了したら、USBケーブルを本機からはずしてください。

内蔵電池残量について

本機のバッテリーインジケーターのゲージが電池残量を表します。確認したい場合は音量ボタン(−)(+)などを押してください。

ご注意

- 付属のUSBケーブルは防水仕様ではありません。水がかかる恐れのある場所で、USBケーブルを接続して使用しないでください。
- 充電には必ず付属のUSBケーブルおよび市販のAC電源アダプタをご使用ください。
- 充電の最大速度は5V/3Aです。これ以下のAC電源アダプタを利用する場合は、AC電源アダプタの供給能力に合わせて充電されます。

基本操作

本体のボタンで以下のコントロールを行うことができます。

【音楽再生 / 音量調節 / 曲の操作】

▶ ボタン：1 回押すごとに再生 / 一時停止します。音楽再生中に2 回続けて押すと、次の曲にスキップします。

音量＋ボタン：1 回押すごとに音量が上がります。音量－ボタン：1 回押すごとに音量が下がります。

複数のスピーカーをワイヤレス接続する（JBL パーティブースト）

複数のJBLパーティブースト対応スピーカーを接続して、複数のスピーカーで同じ音声を再生したり、ステレオ再生*することができます。

- 1 台のスピーカーとデバイスをBluetooth 接続する。接続方法は、「Bluetooth 接続を行う」を参照してください。
- Bluetooth 接続したスピーカーのJBL パーティブーストボタン(🔊)を押す。
- 2 台目以降のスピーカーのJBL パーティブーストボタン(🔊)を押す。接続されると、🔊インジケーターが点灯します。

- 100 台以上接続可能
- 2 台以上同時にワイヤレス機能を接続する場合は、「JBLパーティブースト」機能を搭載した製品同士の接続に限られます。
- 「JBL コネクト」、「JBL コネクトプラス」搭載製品との接続はできません。

JBL Connect アプリ（無料）を使うことで、同時に接続した2 台のスピーカーを左チャンネル、右チャンネル用に設定し、より臨場感のあるサウンドをお楽しみいただくことができます。

※ ステレオ接続は、同じ機種どうしのみでご利用いただけます。



JBL Connect アプリは App Store または Play ストアからダウンロードし、インストールしてください。

トラブルシューティング

原因	解決法
本機の電源ボタンを押しても電源が入らない。	本機が充電されているかご確認ください。
電源は入るが、音が出ない。	ペアリングされているかご確認ください。 <p>本機の音量ボタン（+）を押して、音量を上げてご確認ください。</p> <p>オーディオ機器側の再生が一時停止になっていないかご確認ください。</p>
音が歪む。	音量が上がりにすぎている場合はデバイスの音量を下げてください。
ペアリングできない。	お手持ちの機器が本機と対応しているかどうかご確認ください。 <p>別の機器と接続していないかどうかご確認ください。本機は一度ペアリングを行った機器の情報を記憶しています。音楽を再生したい機器を再接続する場合は、近くのペアリングされているBluetooth 機器をすべてオフにし、本機の電源を入れ直してください。</p>

主な仕様

Bluetooth	Bluetooth4.2
伝送距離	Class 2（通信距離約 10m、障害なきこと）
対応プロファイル	A2DP V1.3、AVRCP V1.6
音声入力	Bluetooth
最大出力	20W RMS
使用ユニット	44 × 80mm 楕円形ドライバー× 1 + パッシブラジエーター× 2
周波数特性	65Hz ～ 20kHz
電池	リチウムイオンポリマー充電電池 17.28Wh（3.6V、4800mAh 相当）
充電時間*	約 2.5 時間（5V/3A）
連続再生時間*	約 12 時間（音量や再生内容により異なります）
サイズ	幅 181mm ×高さ 74mm ×奥行き 69mm
質量	540g
保護等級	IPX7（一時的に一定水圧の条件に水没しても内部に浸水することがない「防浸形」）

※ ・電池は消耗品です。正しい方法であっても充電・放電を繰り返すと徐々に使用できる時間が短くなります。
・充電時間は、充電方法によって異なります。
・高温状態で保管すると、電池性能の劣化が早まります。直射日光があたらず、風通しの良い涼しい場所で保管してください。

ご注意

外装の汚れは、乾いた柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときは、中性洗剤を薄めた液を少し含ませた布でふき、その後乾いた布でふき取ってください。

▶ 本機の廃棄について

Li-ion
本機は内蔵電池として充電式リチウムイオン電池を使用しています。リチウムイオン電池にはリチウムが含まれており、誤った使用、取り扱い、廃棄により爆発する危険性があります。本機に内蔵されているリチウムイオン電池はリサイクルが可能です。本機がご不要となりましたら、一般ゴミなどと一緒に廃棄せず、弊社アフターサポートの窓口へご連絡ください。

ご注意

感電などの危険があるため、本機を絶対に分解しないでください。

▶ アフターサポート

日本国内のアフターサポートに関する情報は、ハーマンインターナショナル株式会社ホームページに掲載しています。

http://jp.jbl.com/support-product.html

Tel：0570-550-465（ナビダイヤル）

受付時間：土日・祝日・年末年始を除く、平日 9:30 ～ 17:30

Bluetooth®

・Bluetooth ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標です。
・Harman International Industries, Incorporated は、これら商標を使用する許可を受けています。
・JBL は米国およびその他の国々における Harman International Industries, Incorporated の登録商標です。
・iPhone、iPod および iPad は、米国およびその他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。

HARMAN

ハーマンインターナショナル株式会社

© 2019 Harman International Japan Co., Ltd. All rights reserved.